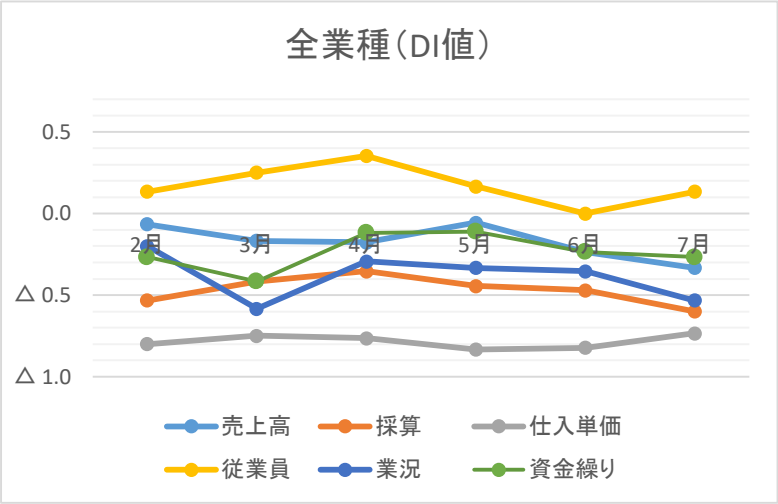


白河商工会議所LOBO調査結果(令和4年7月分)

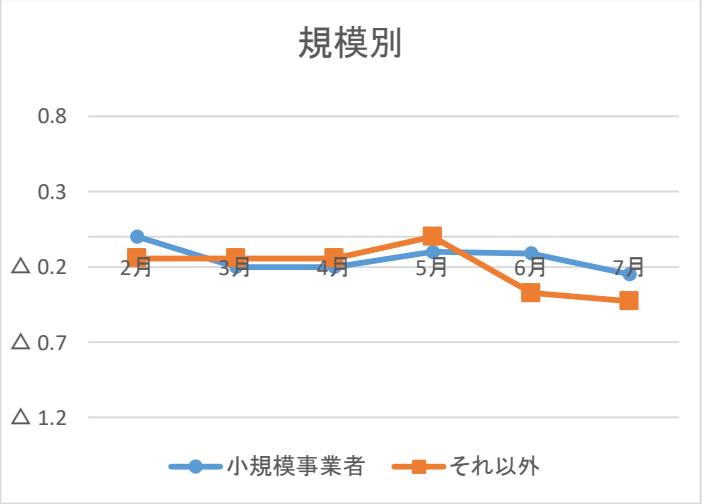
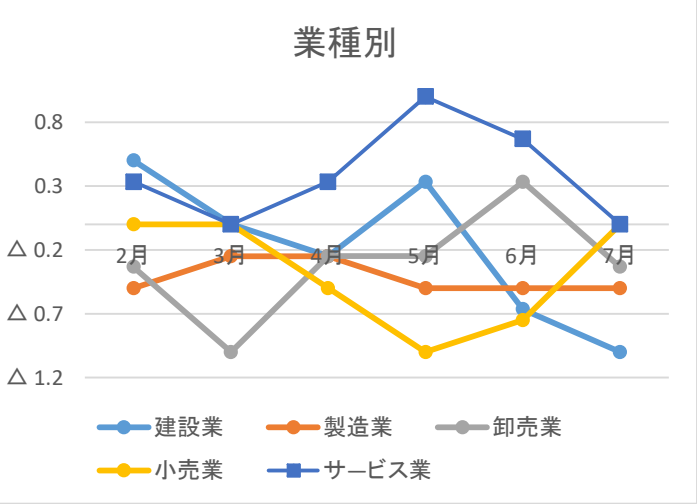
実施期間: 令和4.7.6～7.20 回答事業所: 15事業所

1, 全業種DI値



7月の全業種DI値を見ると、仕入単価・従業員が+0.1ポイント上昇、売上高・採算・業況・資金繰りが-0.1ポイント下降した。

2, 売上高

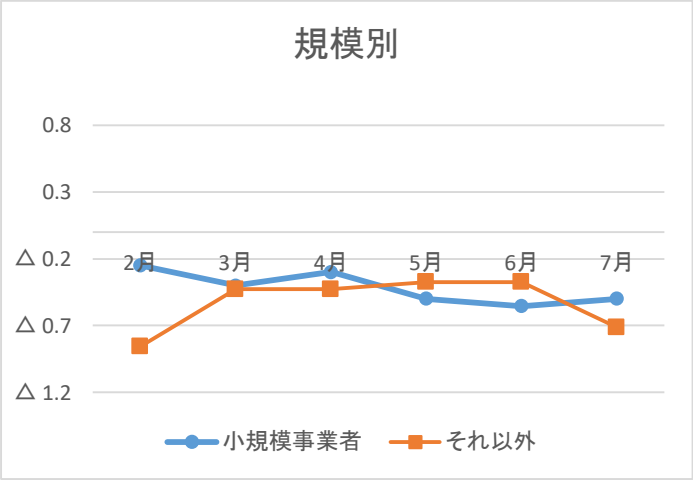
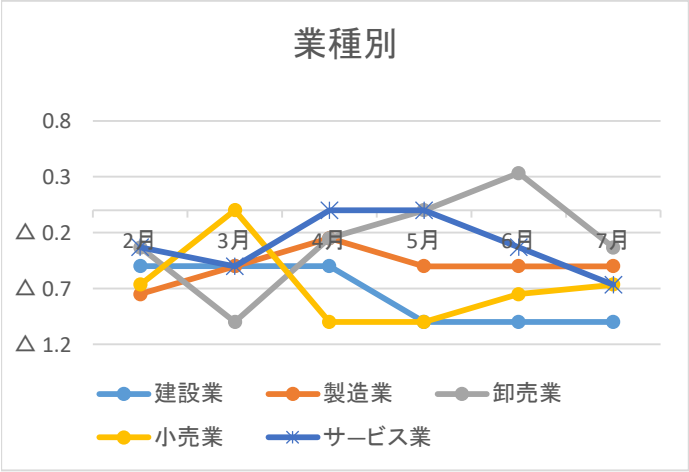


売上DIの推移

	2月	3月	4月	5月	6月	7月
全産業	△ 0.1	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.1	△ 0.2	△ 0.3
建設	0.5	0.0	△ 0.3	0.3	△ 0.7	△ 1.0
製造	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.5
卸売	△ 0.3	△ 1.0	△ 0.3	△ 0.3	0.3	△ 0.3
小売	0.0	0.0	△ 0.5	△ 1.0	△ 0.8	0.0
サービス	0.3	0.0	0.3	1.0	0.7	0.0
小規模	0.0	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.3
それ以外	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.1	0.0	△ 0.4	△ 0.4

全産業の売上DIは前月から-0.1ポイント下降した。
業種別に見てみると、小売業が+0.8ポイント上昇した。
一方で、建設業が-0.3ポイント、卸売業は-0.6ポイント、サービス業が-0.7ポイント下降した。製造業は横ばいとなった。
規模別に見ると小規模は-0.2ポイント下降、それ以外は横ばいという結果となった。

3, 採算

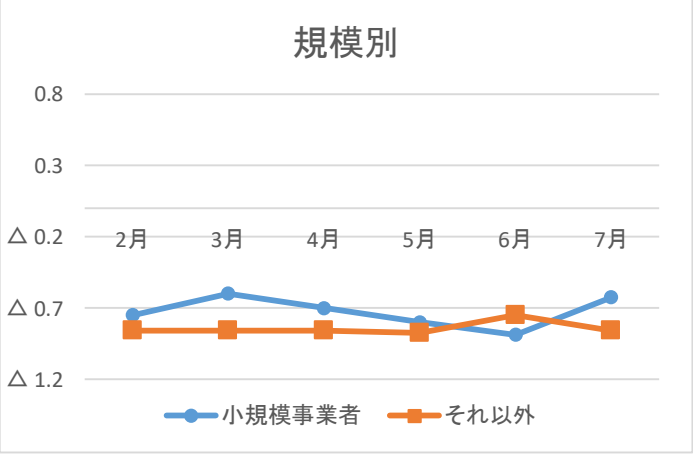
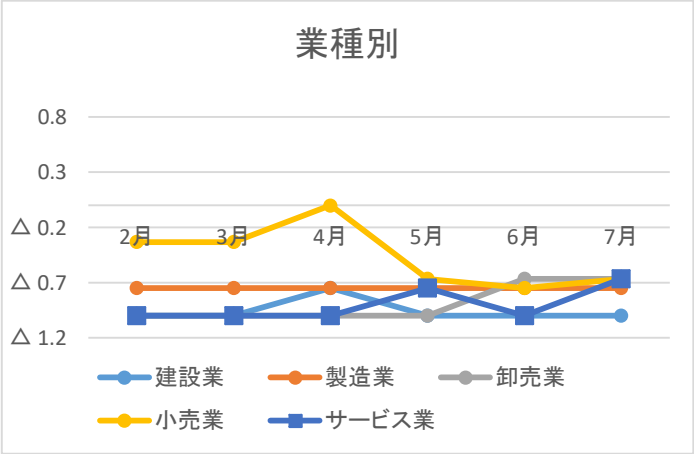


採算DIの推移

	2月	3月	4月	5月	6月	7月
全産業	△ 0.5	△ 0.4	△ 0.4	△ 0.4	△ 0.5	△ 0.6
建設	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.5	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0
製造	△ 0.8	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.5
卸売	△ 0.3	△ 1.0	△ 0.3	0.0	0.3	△ 0.3
小売	△ 0.7	0.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 0.8	△ 0.7
サービス	△ 0.3	△ 0.5	0.0	0.0	△ 0.3	△ 0.7
小規模	△ 0.3	△ 0.4	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.6	△ 0.5
それ以外	△ 0.9	△ 0.4	△ 0.4	△ 0.4	△ 0.4	△ 0.7

全産業の採算DIは前月から-0.1ポイント下降した。
業種別に見てみると、小売業は+0.1ポイント上昇した。
一方で卸売業は-0.6ポイント、サービス業は-0.4ポイント下降した。建設業、製造業は横ばいとなった。
規模別に見ると、小規模は+0.1ポイント上昇、それ以外は-0.3ポイント下降した。

4, 仕入単価

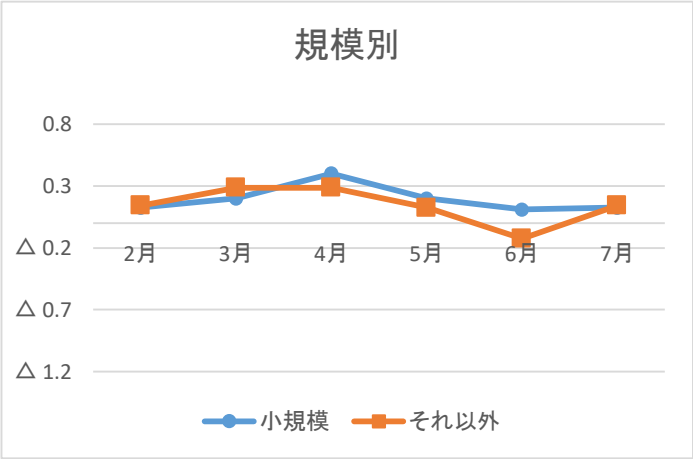
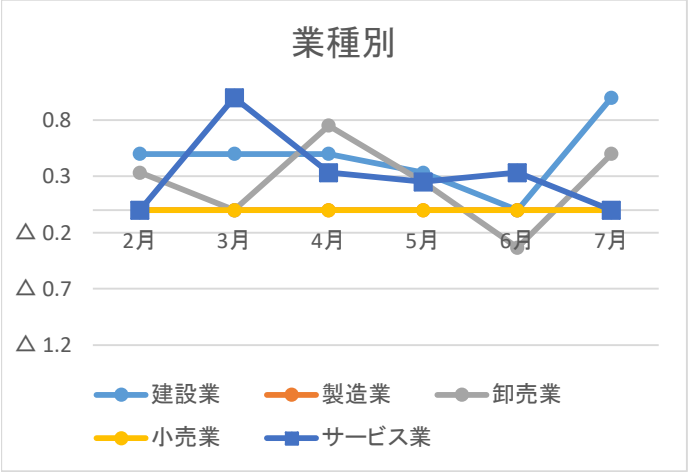


仕入単価DIの推移

	2月	3月	4月	5月	6月	7月
全産業	△ 0.8	△ 0.8	△ 0.8	△ 0.8	△ 0.8	△ 0.7
建設	△ 1.0	△ 1.0	△ 0.8	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0
製造	△ 0.8	△ 0.8	△ 0.8	△ 0.8	△ 0.8	△ 0.8
卸売	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 0.7	△ 0.7
小売	△ 0.3	△ 0.3	0.0	△ 0.7	△ 0.8	△ 0.7
サービス	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 0.8	△ 1.0	△ 0.7
小規模	△ 0.8	△ 0.6	△ 0.7	△ 0.8	△ 0.9	△ 0.6
それ以外	△ 0.9	△ 0.9	△ 0.9	△ 0.9	△ 0.8	△ 0.9

仕入単価の全産業DIは+0.1ポイント上昇した。
業種別に見ると、小売業は+0.1ポイント、サービス業は+0.3ポイント上昇した。
建設業、製造業、卸売業は横ばいとなった。
規模別に見ると、小規模は+0.3ポイント上昇、それ以外は-0.1ポイント下降という結果となった。

5, 従業員

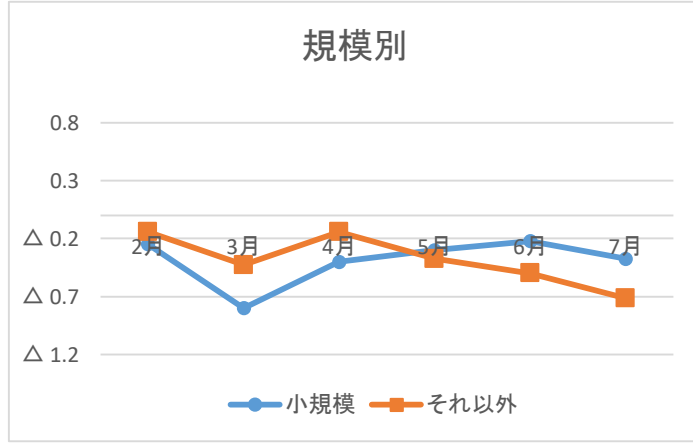
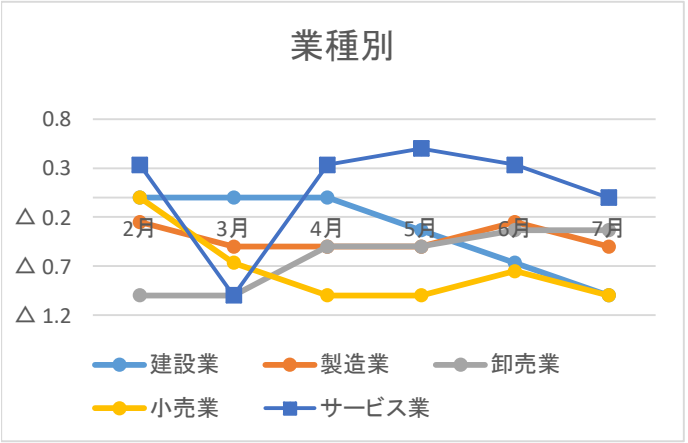


従業員DIの推移

	2月	3月	4月	5月	6月	7月
全産業	0.1	0.3	0.4	0.2	0.0	0.1
建設	0.5	0.5	0.5	0.3	0.0	1.0
製造	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
卸売	0.3	0.0	0.8	0.3	△ 0.3	0.5
小売	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
サービス	0.0	1.0	0.3	0.3	0.3	0.0
小規模	0.1	0.2	0.4	0.2	0.1	0.1
それ以外	0.1	0.3	0.3	0.1	△ 0.1	0.1

従業員の全産業DIは前月から+0.1ポイント上昇した。
業種別にみると、建設業は+1.0ポイント、卸売業が+0.8ポイント上昇した。
一方で、サービス業は-0.3ポイント下降した。
製造業、小売業は横ばいとなった。
規模別にみると、小規模は横ばい、それ以外は+0.2ポイント上昇した。

6, 業況

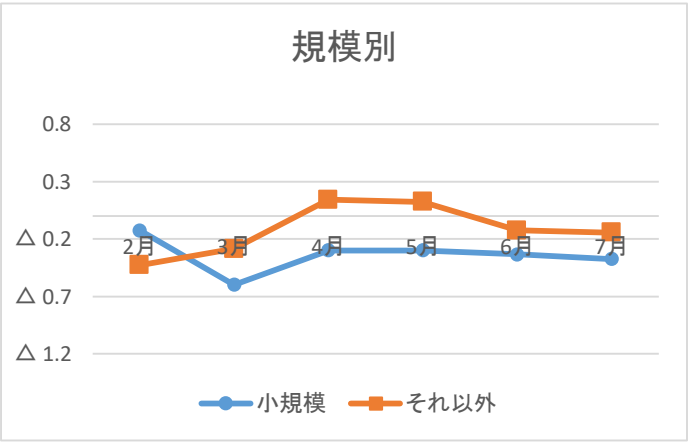
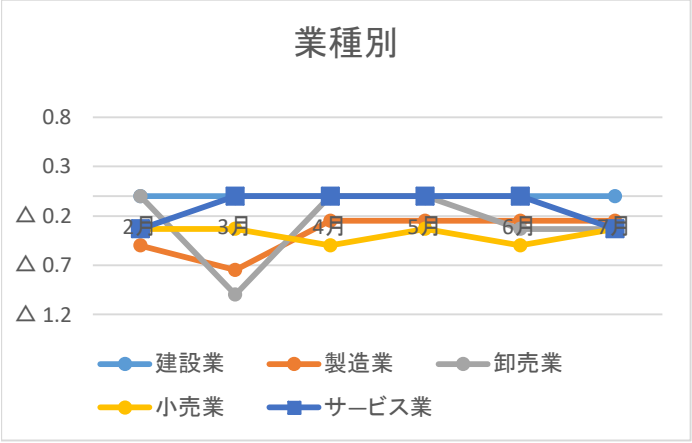


業況DIの推移

	2月	3月	4月	5月	6月	7月
全産業	△ 0.2	△ 0.6	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.4	△ 0.5
建設	0.0	0.0	0.0	△ 0.3	△ 0.7	△ 1.0
製造	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.5
卸売	△ 1.0	△ 1.0	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.3
小売	0.0	△ 0.7	△ 1.0	△ 1.0	△ 0.8	△ 1.0
サービス	0.3	△ 1.0	0.3	0.5	0.3	0.0
小規模	△ 0.3	△ 0.8	△ 0.4	△ 0.3	△ 0.2	△ 0.4
それ以外	△ 0.1	△ 0.4	△ 0.1	△ 0.4	△ 0.5	△ 0.7

業況の全産業DIは前月から-0.1ポイント下降した。
業種別に見ると、卸売業は横ばいである。
一方で、建設業・サービス業は-0.3ポイント、製造業・小売業は-0.2ポイント下降した。
規模別で見ると、小規模・それ以外ともに-0.2ポイント下降という結果となった。

7, 資金繰り



資金繰りDIの推移

	2月	3月	4月	5月	6月	7月
全産業	△ 0.3	△ 0.4	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.2	△ 0.3
建設	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
製造	△ 0.5	△ 0.8	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3
卸売	0.0	△ 1.0	0.0	0.0	△ 0.3	△ 0.3
小売	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.3
サービス	△ 0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	△ 0.3
小規模	△ 0.1	△ 0.6	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.4
それ以外	△ 0.4	△ 0.3	0.1	0.1	△ 0.1	△ 0.1

資金繰りの全産業合計DIは前月から-0.1ポイント下降した。
業種別に見ると小売業は+0.2ポイント上昇した。
一方で、サービス業は-0.3ポイント下降した。
建設業、製造業、卸売業は横ばいとなった。
規模別に見ると、小規模は-0.1ポイント下降、それ以外は横ばいであった。

※「建」：建設業、「製」：製造業、「卸」：卸売業、「小」：小売業、「サ」：サービス業

1.付帯調査【新型コロナウイルスによる影響について】

1-1 新型コロナウイルスによる経営のマイナスの影響について

	建	製	卸	小	サ	合計
①深刻なマイナスの影響が続いている(感染拡大前と比べ、売上が50%超減少)		1				1
②大きなマイナスの影響が続いている(感染拡大前と比べ、売上が30%程度減少)		2	2	1	1	6
③ある程度のマイナスの影響が続いている(感染拡大前と比べ、売上が10%程度減少)		1	1	1		3
④現時点で影響はないが、今後マイナスの影響が出る懸念がある	2			1	1	4
⑤影響はない						0
⑥分からない						0
⑦回答不能					1	1

2.付帯調査

2-1 貴社の海外ビジネス展開の現状および今後の方針について、選択肢からお選びください。

＜現状について＞	建	製	卸	小	サ	合計
①現在、輸出を行っている						0
②現在、輸入を行っている						0
③現在、海外拠点・現地法人を設立している						0
④現在、業務委託・提携を行っている						0
⑤現在、技術提携を行っている						0
⑥海外ビジネスは行っていない	2	4	3	3	3	15
⑦その他						0
＜今後の方針について＞	建	製	卸	小	サ	合計
⑧今後、海外ビジネス展開のさらなる拡大を検討している						0
⑨海外ビジネス展開については現状維持の予定						0
⑩海外拠点を他国へ移転する						0
⑪今後、海外ビジネス展開の縮小・廃止を検討している						0
⑫今後、日本国内への回帰を予定・検討している						0
⑬今は海外ビジネス展開を行っていないが、実施を検討している				1		1
⑭今後も海外ビジネス展開を行う予定はない	2	4	3	2	3	14
⑮回答不能						0

2-2 海外ビジネスにおける課題・懸念材料について、選択肢からお選びください。

	建	製	卸	小	サ	合計
①現地のインフラ事情						0
②サプライチェーンの混乱		1				1
③現地の法制度への対応、許認可等の各種手続き			1			1
④採算、売り上げ見通しの確保			1			1
⑤製品・サービスの質の確保			1			1
⑥人材の確保・育成			1			1
⑦信頼できる現地ビジネスパートナー			1	1		2
⑧各支援機関による海外展開支援の不足			1			1
⑨現地市場動向や需要状況の把握			1			1
⑩決済・債権回収			1			1
⑪技術・営業情報等の漏えい			1			1
⑫模倣品、知的財産の侵害			1			1
⑬為替変動への懸念		1	1			2
⑭その他						0
⑮回答不能	2	3	2	2	3	12

2-3 2-1で①～⑤、⑦～⑬と回答した方にお伺いします。

海外ビジネスの展開先について、現状及び今後の予定をそれぞれ選択肢からお選びください。

＜現在ビジネス展開している国＞

	建	製	卸	小	サ	合計		建	製	卸	小	サ	合計
①北米諸国						0	⑧オセアニア諸国						0
②欧州						0	⑨中東諸国						0
③東南アジア諸国						0	⑩ロシア						0
④中国						0	⑪中南米諸国						0
⑤韓国						0	⑫アフリカ諸国						0
⑥台湾						0	⑬その他						0
⑦インド						0							

＜現在ビジネス展開していないが、今後展開を予定検討している国＞

	建	製	卸	小	サ	合計		建	製	卸	小	サ	合計
①北米諸国						0	⑧オセアニア諸国						0
②欧州						0	⑨中東諸国						0
③東南アジア諸国				1		1	⑩ロシア						0
④中国						0	⑪中南米諸国						0
⑤韓国						0	⑫アフリカ諸国						0
⑥台湾						0	⑬その他						0
⑦インド						0							

付帯調査まとめ

新型コロナウイルスによる経営のマイナスの影響についての付帯調査では、「大きなマイナスの影響が続いている」と答えた事業所が最も多く40%を占めた。先月と比較し影響が大きくなっている傾向にある。

海外ビジネス展開について、現在取引を実施している事業所はないが、小売業で1件東南アジア諸国と事業展開を予定している。

ウクライナ情勢を懸念する事業所からは、今後の原材料高騰、物流の停滞による原材料の入手困難など不安な声が上がった。